

仲間と、正解のない 問いを、身体で考える。

対話し、動き、試しながら、自分らしい表現と学びを育てる。



シアターインプロが、学校にもたらす3つの価値



挑戦する力

正解のない場面で試行錯誤することで、
自ら考え、行動する力を育てます。



つながる力

相手の表現を受け止め、
対話しながら協働する力を育てます。



表現する力

身体と言葉を使って表現することで、
自分らしさと自己肯定感を育てます。

シアターインプロは、台本のない即興のやりとりを通して、子どもたちが“今ここ”で考え、表現し、仲間とつくりあげていく体験型の学びです。
体育の表現活動や学級活動などの時間に組み込むことができ、学校の教育課程に合わせて無理なく導入いただけます。



文化庁「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」等を活用した実施を想定



体育（表現活動）／学級活動などの時間に導入可能なプランをご提案します

授業の中で、 こんな瞬間が生まれます。

ちょっとソワソワ。やってみたら、びっくり。



1 思いがけない提案

普段おとなしい子から出た一言が、
場を動かす。



2 相手を待つ

自分が先に動くのではなく、
相手を見て次をつくる。



3 一緒に乗り越える

挑戦、助け合い、成功、失敗。
その先に思いがけない出来事が起こる。



4 自分なりに表現する

感じたことを、言葉や身体で
その場に出してみる。

先生方の声

学校教育では対応が難しい、
こんな授業を
求めています。



今の子どもたちに
必要な授業だと
思いました。



先の読めない時代を
生き抜くために
必要な力だと
感じました。



一人が活躍するのではなく、互いの挑戦を支えながら、みんなで場をつくる。

実際のインプロゲーム

遊びの中に、学びの種がある。

シアターインプロとは、台本を使わず、その場で生まれるやりとりから演劇をつくっていく即興演劇です。その先駆者たちが生み出してきた数々のインプロゲームから、子どもたちと取り組めるものを選び、授業として構成しています。

01



手拍子パス | 小3-4

見る/
タイミングを合わせる/
受け取る

02



無声ホイ・ダー・シュ | 小6

反応する/
集中する/
流れに乗る

03



ミラーワーク | 小3-4

観察する/
合わせる/
主導と追従

04



私は木です | 小5

提案する/
受け取る/
一緒につくる

05



ワンワード | 小6

聞く/
つなぐ/
手放す



ゲームそのものが目的ではありません。

インプロゲームを通して、子どもたちが「自分らしく表現すること」の喜びや、「仲間と関わること」の大切さに気づくこと。その体験が、授業の本質です。

\ なぜ、それが学びになるのか /

『やり方を知らないこと』を、 やってみる。

やってみる。

こわい。

でも、やってみる。

誰かがいる。



1



挑戦する

正解がわからなくても、
まずやってみる。

2



受け取る

相手が何をしようとして
いるのかを見る。

3



支える

誰かの挑戦を、
次の提案につなげる。

4



一緒につくる

一人では生まれなかった
結果にたどり着く。

学級を
『アンサンブル』
として考える。

よく見る子、待てる子、
誰かの提案を面白くする子。
さまざまな参加の仕方が、
一つの場をつくれます。

先行きのわからない世界を生きるための、
小さな予行演習。



実践の出発点：『インプロをすべての教室へ』

学校ごとに、 授業を設計します。

クラス単位を基本に、同じ子どもたちと複数回取り組みます。

対象学年、クラス数、児童・生徒数、実施回数などを確認し、
学校ごとに実施方法を相談しながら構成します。

＼ 調整する項目 ／

対象学年

対象クラス

人数

実施回数

授業時間

■ 実施プラン例（A 小学校・5 年 1 組の場合）

回	テーマ（例）	主な内容	ねらい（例）
第 1 回	つながる・聴く	- 自己紹介ゲーム - 相手の話を聴いて、まねしてみる - 小さなシーンづくり	- 安心して参加する雰囲気づくり - 聴く力、反応する力を育てる
第 2 回	表現する・伝える	- 感情や動きを使った表現遊び - 即興で短いシーンをつくる - ふりかえり	- 自分の思いを表現する力 - 互いの違いを認め合う姿勢
第 3 回	つくる・みせる	- グループで短い作品をつくる - 発表し合う - ふりかえり	- チームで協力する力 - 自信と達成感をもつ
第 4 回	ふりかえる・広げる	- これまでのふりかえり - みんなで新しいシーンをつくる - まとめとメッセージ	- 成長の実感を共有する - 学びを日常へつなげる

※上記は一例です、学校の状況やご希望に応じて、内容や回数を調整します。



じっくり。

同じクラスで、同じ時間を
重ねるからこそ、子どもたちの
変化が生まれます。



事前の打合せで、
学校のねらいに合わせて
丁寧に設計します。

授業のねらいや子どもたちの状況に
合わせて、内容や進め方を一緒に
考えます。

一回のイベントではなく、子どもたちと時間を重ねることを大切にしています。

学校現場で、 実践を重ねてきました。

2023年度

3校・8日・16コマ

2024年度

11校・41日・91コマ

2025年度

12校・42日・130コマ

2026年度

15校・42日・155コマ
(予定)

文化庁事業を活用し、岐阜県を中心とした小・中学校でシアターインプロの授業を継続しています。

メディア掲載



※新聞記事は元画像をそのまま使用しています。

学校以外での実践

- ・土岐市教育研究所 教員向けサマーセミナー
- ・フリースクールでのシアターインプロ実践

世界劇場 シアターインプロ講師チーム

最終ページ (7/7)



いろんな人が、います。

ダンス／演劇／福祉／教育／身体／ものづくり

1 山田茂樹

ダンサー／振付家／
演出家／代表理事

舞台芸術、ショービジネス、現代アートなど領域を横断して活動。国内外の舞台出演・振付経験をもとに、身体表現の研究と芸術活動を行う。

2 竹市朋世

アートマネジメント／
理事

日本舞踊を学び、歴史遺産・伝統芸能を背景に舞台制作や翻訳、アートマネジメントに携わる。世界劇場の事務局・運営を担う。

3 各務明子

身体表現者／
ダンス講師

新体操、コンテンポラリーダンス、ダンスセラピーを学ぶ。舞台出演やコミュニティダンスなど、身体表現と人との関わりを軸に活動している。

4 木村亮太

空間デザイン／
コミュニティ活動

空き家再生や空間づくりを通して、人が集まる場を育てる活動を行う。音楽、木工、デザインなどジャンルを横断して活動している。

5 杉浦麻衣子

身体表現／
保育・福祉

舞台活動を経て、介護、障がい児支援、保育の現場に携わる。現在は派遣保育士。半即興の身体表現を模索してきた経験を生かし、子どもと身体表現に関わる。

6 瀧瀬麻衣

ダンサー／
振付家

クラシックバレエを基礎に、国内外でコンテンポラリーダンスを学ぶ。舞台活動とともに、地域でのダンス指導やコミュニティダンスに携わる。

7 田中里恵

ダンサー／振付家／
演出家

クラシックバレエを基礎に、ミュージカルや演劇の振付・演出、地域の合唱団や劇団への指導に携わる。音楽・アート・ダンスを横断した活動を続けている。

8 田中すみれ

ダンサー／
振付家

新体操、コンテンポラリーダンスを背景に舞台活動を行う。ダンスカンパニーでの活動や学校公演、作品制作を経て、表現と教育の場に関わる。

9 西垣李音

ダンサー

幼少期よりモダンバレエを学び、身体表現を継続して研究。ダンスとシアターインプロを通して、自分自身や他者との関係を探る活動を行う。

10 額賀香織

陶芸作家／
クラフトイベント主催

陶芸作家として器を制作。廃校を活用したクラフトイベントを主催するなど、ものづくりを通じた場づくりにも取り組んでいる。

11 野村英司

寺子屋豆鉄砲 塾長／
心理カウンセラー

愛知県岡崎市で「寺子屋豆鉄砲」を運営。子どもたちの好奇心や想像力、創造性を大切にした学びの場づくりを続けている。

12 原一亜希

柔道整復師／
スポーツトレーナー

接骨院と放課後等デイサービスを運営。スポーツや障害児者の現場で、「ケガをしない身体作り」「心と身体を楽しく動かす運動あそび」を実践している。

13 三宅恵理

俳優／
歌唱・演技指導

舞台・音楽活動を経て渡米し、声と演劇を学ぶ。帰国後は岐阜を拠点に、舞台の演技・歌唱指導や演劇ワークショップなどに携わる。

14 山口文香

整体師／
身体表現

身体の使い方やセルフケアの指導とともに、ダンスや地域活動に携わる。芸術を地域や社会へ生かす取り組みを続けている。

一般社団法人 世界劇場
代表理事 山田茂樹

📍 岐阜県美濃加茂市西町4-50

✉ aieumethod@gmail.com



学校に、小さな冒険を。



文化庁事業を活用した申請・事務手続きについては、別紙『申請・事務フロー』をご参照ください。